

教育研究業績書

令和5年5月1日

氏名 寺嶋昌代 印

教育上の能力に関する事項

事項	年月	概要
1 教育方法の実践例	平成6年4月～ 平成9年3月	京都大学総合人間学部 無機化学分析実験、有機合成実験の実験指導（京都大学の理系学部（理学部、農学部、工学部）の化学実験の巡回指導、毎週の全員のレポート添削を行い、記録だけでなく、そこからの発展的勉強を促すようにした。
	平成18年10月～12月	奈良女子大学理学部生物学科にて細胞生物学の実験指導（奈良女子大学理学部生物学科3回生の細胞生物学の実験指導を行った。細胞の染色法、光学顕微鏡、電子顕微鏡の操作、DNAの抽出、電気泳動などの実験指導を行った。）
	平成14年～ 現在	現在に至るまでの担当科目（生化学、化学、暮らしの科学、生物学、基礎生物学、生活と環境、基礎栄養学、管理栄養課題研究Ⅰ、Ⅱ、教養ゼミナールⅠ、Ⅱ）（東海学院大学）、（生化学、自然と人間、生活と化学、生活科学、教養ゼミナール）（東海女子短期大学）、（生化学Ⅰ、Ⅱ、生化学実験、基礎化学、有機化学、基礎化学実験、化学、生化学）（修文大学）（基礎栄養学、基礎栄養学実験、生化学Ⅰ、Ⅱ、生化学実験、NRサプリメント演習、化学Ⅱ）（甲子園大学）において、講義内容の定着のため、パワーポイント資料、ビデオ教材を積極的に導入し、アニメーションも工夫し、視覚的にも印象深い講義にしている。
	平成22年4月 から平成25年 3月	サプリメントアドバイザー資格試験準備講座や、NR（栄養情報担当者）受験講座を開催
	平成20年4月 から現在まで	講義内容の定着のために、毎回ショートテストを行っている
	平成25年4月 から平成27年 3月まで	講義内容の定着のために、中間テストを導入した。
	平成27年4月 から現在まで	実験科目については、講義内容の定着のために、毎回レポート提出を課した。アクティブラーニングを心がけ、学生が自主的に取り組める工夫を行っている。学生によるプレゼンテーションも最終回に実施している。
2 作成した教科書・教材	平成10年12月20日	現代の化学（日新出版）

様式第4号（教員個人に関する書類）

	<p>平成24年2月15日</p> <p>平成30年4月</p> <p>令和3年2月</p> <p>平成23年、平成24年、平成25年、平成26年1月、令和4年</p> <p>平成26年3月、令和5年3月</p> <p>平成22年3月毎年改訂</p> <p>平成25年3月</p> <p>平成26年10月</p> <p>平成28年6月</p> <p>令和3年6月</p> <p>令和4年4月</p>	<p>管理栄養士・栄養士必携 健康・栄養学用語辞典（中央法規）</p> <p>新版 子どもの食と栄養 新時代の保育双書 編著（みらい）</p> <p>新・子どもの食と栄養 新時代の保育双書 編著（みらい）</p> <p>基礎栄養学、人体の構造分野 管理栄養士国家試験対策 要点のまとめプリント21枚</p> <p>管理栄養士国家試験対策 必修例文（基礎栄養）改訂40枚</p> <p>NR（栄養情報担当者）・サプリメントアドバイザー受験対策まとめ（A3, 15枚）</p> <p>BCIC（学生課程教育改善センター）員として、教養ゼミナールIの初期導入教育において、全学共通教育マニュアルを作成。</p> <p>入学前教育における化学基礎編として、Web上で学べるstep0からstep23までのコンテンツ、および、受講前テスト、受講後テストを作成。</p> <p>修文大学に国家試験対策室を設置し、そのプログラムとして、漢字で覚える専門科目プログラムを作成。</p> <p>甲子園大学栄養学部に国家試験対策室を設置した。</p> <p>管理栄養士国家試験対策 基礎栄養学・生化学要点まとめプリント2022年版（A4, 22枚）、重要語句集。</p>
<p>3 教育上の能力に関する大学等の評価</p>	<p>平成25年</p> <p>令和2年4月</p> <p>令和4年2月</p> <p>令和4年7月</p>	<p>東海学院大学健康福祉学部管理栄養学科教授としての教員審査合格（基礎栄養、基礎栄養学実験、生化学、生化学実験、生物学、化学、生活と環境、管理栄養課題研究I、II）</p> <p>甲子園大学大学院栄養学研究科授業担当資格内部審査委員会で認定</p> <p>学生による授業評価、例年おおむね良好な評価を得ている。</p> <p>同僚教員による相互授業参観評価、おおむね良好な評価を得ている。</p>

様式第4号（教員個人に関する書類）

4 実務の経験を有する者についての特記事項	平成9年8月	サイエンスマジック（一般市民100名程度、大津市立図書館こどもの広場企画）
	平成13年8月 平成13年	東海女子短期大学公開講座（親と子の科学講座） 震災対策虎の巻（岐阜県県政誌、岐阜県防災会議地震対策部）
	平成16年12月	第三回改善塾発表会パネルディスカッションパネラー（東宝学園大学）（地域企業と大学生合同の改善活動報告）
	平成19年12月	マイナビ就職セミナーキャリアカウンセリング（京都勧業会館）
	平成19年3月	WAQU2調査隊身近な水辺自慢発表BQYネットワークの集い、発表会 琵琶湖淀川水質保全機構
	平成20年3月	報告文 東海女子短期大学生涯学習センター活動記録東海女子短期大学紀要第34号、pp127-142
	平成21年7月 18日	市民公開講座「ウデをまкруう、岐阜！高血圧に負けないために！」「血圧を下げるのにキク ダイエットと減塩のコツ」 日本高血圧協会・日本高血圧学会、ノバルティスファーマ株式会社主催、岐阜県医師会・オムロンヘルスケア株式会社後援
	平成21年7月 28日	学童保育所における食育および自然に親しむための科学プログラム（1）
	平成22年8月 20日	学童保育所における食育および自然に親しむための科学プログラム（2）
	平成22年8月 20日	学童保育所における食育および自然に親しむための科学プログラム（3）
	平成22年3月 29日	学童保育所における食育および自然に親しむための科学プログラム（4）
	平成22年8月 26日	学童保育所における食育および自然に親しむための科学プログラム（5）
	平成25年7月 18日	講演「本当の自分を知る」岐阜県立揖斐高等学校出前講義
	平成30年10月 16日	「乳酸菌について」一宮市公開講座
	平成17年10月～2月	平成17年度東海女子短期大学生涯学習センター秋講座企画運営（有料生涯学習講座15講座企画運営）
平成17年9月～1月	平成17年度東海女子短期大学公開講座企画運営（無料講座5講座企画運営）	
平成18年4月～9月	平成18年度東海女子短期大学生涯学習センター春講座企画運（有料生涯学習講座24講座企画）	
平成18年4月～平成19年1月	平成18年度東海女子短期大学公開講座企画運営（無料講座10講座企画運営）	
平成18年10月～平成19年	平成18年度東海女子短期大学生涯学習センター秋講座企画運営（有料生涯学習講座25講座企画運営）	

様式第 4 号 (教員個人に関する書類)

	<p>年 2 月</p> <p>平成 19 年 4 月～9 月</p> <p>平成 19 年 10 月～平成 20 年 2 月</p> <p>平成 19 年 4 月～平成 20 年 1 月</p> <p>平成 20 年 2 月</p>	<p>平成 19 年度東海女子短期大学生涯学習センター春講座企画運営 (有料生涯学習講座 19 講座企画運営)</p> <p>平成 19 年度東海女子短期大学生涯学習センター秋講座企画運営 (有料生涯学習講座 27 講座企画運営)</p> <p>平成 19 年度東海女子短期大学公開講座企画運営 (無料講座 5 講座企画運営)</p> <p>平成 20 年度東海学院大学短期大学部生涯学習センター春講座企画 (有料講座 12 講座企画)</p>
5 その他	<p>平成 22 年</p> <p>平成 24 年 3 月</p> <p>平成 25 年 1～3 月</p> <p>平成 25 年 4 月</p> <p>平成 25 年 4 月</p> <p>平成 25 年 4 月</p> <p>平成 25 年 4 月</p> <p>平成 25 年 4 月</p> <p>平成 25 年 4 月</p> <p>平成 25 年 4 月</p> <p>平成 25 年 10 月</p> <p>平成 26 年 4 月</p> <p>平成 26 年 4 月</p> <p>平成 28 年 5 月</p>	<p>BCIC (学士課程教育改善センター) 員として、大学の成績評価に GPA 制度を企画し、導入した。</p> <p>BCIC (学士課程教育改善センター) 員として、教養ゼミナール I の初期導入教育において、大学生活のルールとマナー指導要領を作成。</p> <p>BCIC (学士課程教育改善センター) 員として、入学前教育の企画を担当。レポート添削や入学後の専門用語の漢字練習をさせることによって、大学教育に馴染むようにし、全学科において実行した。</p> <p>食健康栄養学科学科長として、国家試験対策室を設置。管理栄養士国家試験対策、学科での学習支援の中核となる基地として運営。学科教員全員で教材の編集改訂も行った。</p> <p>食健康栄養学科において、管理栄養士関係の科目においては、中間テストを導入し、食健康栄養学科全体で実施するようにした。</p> <p>食健康栄養学科において、春休み、夏休み、冬休みに、東海アカデミーという集中講座を企画。全学科教員の協働により 1～3 年対象と、4 年生対象に分けて、専門科目の理解の徹底に寄与できる仕組みを考案</p> <p>食健康栄養学科で、1 年生から指導教員補佐としてチューター制度を導入。チューターは持ち上がり制。</p> <p>食健康栄養学科の中で、相互授業参観を F D として企画。</p> <p>食健康栄養学科内で共通に使用する面談シートを作成。</p> <p>大学教育研究開発センター長として、全学科において相互授業参観をする F D を企画。</p> <p>大学教育研究開発センター長として、全学科において相互授業参観に公開講座型を導入して F D を推進。</p> <p>大学教育研究開発センター長として、ポートフォリオを見直し、シートの改訂、学科ごとの運用を整備</p> <p>修文大学 F D 委員長として、相互授業参観 F D シートを作</p>

様式第4号（教員個人に関する書類）

	<p>月</p> <p>平成 28 年 6 月</p> <p>平成 29 年度 4 月</p> <p>平成 30 年 4 月</p> <p>令和 3 年 4 月</p> <p>令和 4 年 4 月</p>	<p>成し、一般公開型授業参観と個別授業参観を同一シートで把握し、FD 実績として残せるようにした。</p> <p>修文大学国家試験対策委員長として修文大学管理栄養学科に国家試験対策室を設置。</p> <p>修文大学FD委員長として、ティーチングポートフォリオを導入。</p> <p>修文大学FD委員長として、学生のラーニングポートフォリオを全学科、全学年に導入。</p> <p>甲子園大学栄養学部長として学生面談シートを導入</p> <p>栄養学部長として、助手の業務の円滑な実行のために、メンター教員を配置した。また、助手面談シート、助手と教員とのコミュニケーションチェック表、助手評価表などを導入した。助手研修を企画実行。</p>
職務上の実績に関する事項		
事項	年 月	概要
1 資格, 免許	昭和 56 年 3 月 23 日	理学修士 京都大学大学院(理修第 2544 号)
	平成 13 年 3 月 23 日	博士 (理学) 奈良女子大学大学院 (博課第 150 号)
	昭和 56 年 3 月	高等学校教諭 1 級免許 (理科) 高一普 1 8 2 野田昌代 京都教育委員会
	平成 18 年 5 月	CDA キャリアデベロップメントアドバイザー資格 (日本 キャリア開発協会)
	平成 18 年 3 月 24 日	生涯学習コーディネーター資格 (岐阜県)
	平成 16 年 12 月	心の対話者 (全国産業人能力開発団体連合会 JAD 公認資格)
	平成 16 年 12 月	コーチングメンター資格 (全国産業人能力開発団体連合 会 JAD 公認資格)
	平成 21 年 1 月 1 日	日本サプリメントアドバイザー 日本臨床栄養協会認定 07-129
	平成 22 年 7 月 9 日	NR 栄養情報担当者 国立健康栄養研究所認定第 317 号
	平成 30 年 3 月	エニアグラムファシリテーター (国際コミュニケーション学会)
2 学校現場等での実務経験		特記事項なし

様式第4号（教員個人に関する書類）

3 実務の経験を有する者についての特記事項	平成 21 年 5 月～22 年 3 月	岐阜県立岐阜高等学校 学校評議員				
4 その他		特記事項なし				
担当授業科目に関する研究業績等						
担当授業科目	著書、学術論文等の名称	単著 共著	発行年月	出版社又は発行雑誌等の名称	執筆ページ数 (総ページ数)	概要
食のための化学、化学Ⅱ	(著書) 1. 現代の化学 (学術論文等)	共	平成 10 年 12 月	日新出版	39 ページ (193 ページ)	<u>身の回りの物質の性質や変化を原子や分子の構造や変化にさかのぼって理解することをめざした大学教養課程向け、化学の教科書</u> 著者：渡辺啓、松本光弘、上原哲、寺嶋昌代： 担当部分：第一部三章元素の周期律 pp. 17～28、第二部第九章放射性元素と人工元素 pp. 84～86、第四部三章生体内の化合物 pp. 114～124、四章水、洗剤、化粧品の化学 pp. 137～145、五章ビタミン、ホルモン、医薬品の化学 pp. 158～161
	1. EPR and ODMR Studies of the Lowest Excited Triplet States of Two Tautomers of Indazole in a Benzoic Acid Host Crystal	共	昭和 58 年	J. American Chemical Society, 105, 6790-6794	5 ページ	<u>安息香酸中では、インダゾールは最低励起三重項状態において、1H-インダゾール、2H-インダゾールという二種類の互変異生体として存在することを発見した。また、それぞれの最低励起三重項状態の特性、電子スピン分布をEPR, ODMR法により調べた。</u> 共同研究につき本人担当部分抽出不可能 共著者：Masayo Noda, Noboru Hirota
	2. Electron Paramagnetic Resonance and Optical Detection of Magnetic Resonance Studies of the Lowest Excited Triplet States of Purine, Benzimidazole, and Indazole in Benzoic Acid Host Crystals	共	昭和 59 年	Bull. Chem. Soc. Jpn., 57, 2376-2382	7 ページ	プリン、ベンズイミダゾール、インダゾールの励起三重項状態を安息香酸中で電子磁気共鳴によって、研究した。安息香酸単結晶中において初めて、これらの分子の高分解能のりん光スペクトルが得られ、 <u>構造的情報が得られた。</u> また、これらの分子の安息香酸中における配向が推測された 共同研究につき本人担当部分抽出不可能 共著者：Masayo Noda, Shin-ichi Nagaoka, Noboru Hirota
	3. Proton Transfer Tautomerism in	共	昭和 60 年	J. Physical Chemist	3 ページ	<u>インダゾールの最低励起一重項状態における二重プロトン移動により、互変異性化がピコ秒単位で起こっていることを、けい光の立ち上がりと減衰をピコ秒けい光分光によって確</u>

様式第4号 (教員個人に関する書類)

<p>the Excited State of Indazole in Acetic Acid: Tautomerization via Double Proton Switching</p>	<p>4. A Study of the Zero Field Splittings of the Lowest Excited Triplet States of Substituted Benzenes and Related Molecules by Optical Detection of Magnetic Resonance, Electron Paramagnetic Resonance, and Molecular Orbital Calculations</p>	<p>共</p>	<p>昭和61年</p>	<p>ry, 89, 399-401</p> <p>Bull.Chem.Soc. Jpn. , 59 , 355-361</p>	<p>7 ページ</p>	<p>かめた。 1H-インダゾールから2H-インダゾールへのプロトン移動速度は約300psであった。共同研究につき本人担当部分抽出不可能 共著者：Masayo Noda, Noboru Hirota, Minoru, Sumitani, Keitaro Yoshihara</p> <p>種々のベンゼン誘導体（アニリン、アニソール、ベンゾニトリル、ベンゾフラン、インドール、ベンズイミダゾール、インダゾール、プリン、安息香酸）の三重項零磁場分裂定数を測定し、理論計算値と比較検討した。ベンゼンは置換基の性質によって、零磁場分裂が大きく変化することがわかった。DewarとMoritaらの分子軌道計算のパラメーターを用いた方が、実験結果をよく再現できた。共同研究につき本人担当部分抽出不可能共著者：Shin-ichi Nagaoka, Edward T. Harrigan, Masayo Noda, Noboru Hirota, Jiro Higuchi</p>
	<p>5. インダゾールの励起状態における分子間プロトン移動</p>	<p>単</p>	<p>昭和60年</p>	<p>東海女子大学紀要第4号 p 53-60</p>	<p>8 ページ</p>	<p>インダゾールの励起一重項におけるプロトン移動の機構を、1H-インダゾール、1メチルインダゾール、2メチルインダゾールの酢酸中、シクロヘキサン中での吸収スペクトル、けい光励起スペクトルを測定することにより、解明した。</p>
	<p>6. インダゾールの励起状態における分子間プロトン移動：溶媒による機構の違い</p>	<p>単</p>	<p>昭和61年</p>	<p>東海女子短期大学紀要第12号 p 11-19</p>	<p>9 ページ</p>	<p>溶媒の種類によって、インダゾールのプロトン移動の機構がどのように異なるのか論じた。インダゾールのけい光、けい光励起スペクトルを酢酸-エタノール混合溶媒中で、その混合の割合を変化させ、研究した。また、イソ酪酸、イソ吉草酸などのカルボン酸中でもプロトン移動を起こすことがわかった。</p>
	<p>7. Electronic Spectra of Hydrogen-Bonded Indazole in a Supersonic Free Jet</p>	<p>単</p>	<p>平成15年3月</p>	<p>東海女子短期大学紀要第29号 p17-27</p>		<p>複素環式化合物インダゾールと色々なプロトン放出性分子との超音速自由噴流中でのコンプレックスのけい光の性質を研究した。インダゾールのコンプレックスのけい光は自由なインダゾールに比べて赤方シフトしていた。色々な溶媒とのコンプレックスのけい光はどれも類似しており、インダゾールの溶液中でのけい光とは異なっていた。気相孤立系では、プロトン移動はおこらず、インダゾールとプロトン放出性分子との水素結合は一つだけで</p>

様式第4号 (教員個人に関する書類)

	Solvent Effect on the Excited State Dynamics of Indazole (教育実践記録等) 特記事項なし	単	平成 16 年 3 月	東海女子短期大学紀要第30号 pp. 7-16		あると考えられた。 複素環式化合物インダゾールと色々なプロトン放出性分子との超音速自由噴流中でのコンプレックスのけい光の性質を研究した。インダゾールのけい光は溶媒分子の pKa 値によって著しく異なることがわかった。
基礎栄養学、基礎栄養学実験	(著書) 1. 管理栄養士・栄養士必携健康・栄養学用語辞典	共	平成 24 年 2 月	中央法規出版	45 ページ (726 ページ)	<u>管理栄養士・栄養士の日常業務および国家試験受験者に広く利用されることを念頭におき、管理栄養士国家試験ガイドラインを参考にした用語について、十分な基礎知識を与える用語集である。法律関係用語も充実しており、各種書類作成時にも役立つ内容である。</u> 45項目担当 著者：大森正英、寺嶋昌代、他 多数
	2. 新版 子どもの食と栄養 新時代の保育双書	共	平成 30 年 4 月	みらい	23 ページ (247 ページ)	第1章 子どもの心身の発達と食環境 第2章 <u>栄養と生理に関する基本的知識</u> 第8章 特別な配慮を要する子どもの食と栄養を分担執筆。岩田章子、寺嶋昌代、その他
	3. 新・こどもの食と栄養	共	令和 2 年 2 月	みらい	23 ページ (236 ページ)	第一章第一節 子供の発達と健康 第二章第一節 <u>子どもの発育・発達</u> 第八章第一節 子どもの疾病と体調不良を執筆。編集、岩田章子、寺嶋昌代、その他
	4. 学童保育室のおやつ調査	単	平成 22 年 3 月	東海学院大学紀要第3号、pp 67-76.	10 ページ	各務原市の学童保育所で出されているおやつについて、おやつの種類や、頻度、熱量、脂質量、ナトリウム量を四季ごとに調べた。生活習慣に関する問題点を指摘し、学童保育所におけるおやつの時間が食育のよい機会になることが分かった。また、栄養成分含有量を評価することにより、 <u>栄養面からおやつの実績を評価し、学童保育所におけるおやつの給仕が適正であるかを論じた。</u>
	5. 学童保育室における食育と自然に親しむための科学プログラム	単	平成 23 年 3 月	東海学院大学紀要第4号、pp95-104.	10 ページ	食育と自然に親しむための科学プログラムを学童保育室で実践し、岐阜県の身近な食材であるアユや野菜を通して、 <u>食物の中の栄養成分が身体の中で消化吸収されるしくみを分かりやすく示した。</u> また、野菜や植物の色素などの実験を通して、食材や自然に親しむプログラムを実行し、それを検証した。
	6. Mitochondria toxicity of	共	平成 26 年	東海学	7 ページ	絨毛虫プレファリズマのもつ色素プレファリ

様式第4号 (教員個人に関する書類)

	<p>blepharismismin, a defense toxin produced by ciliated protozoan <i>Blepharisma japonicum</i> against predatory protists</p> <p>7. 世界のナマズ食文化とその歴史</p>	共	3月 平成26年12月	院大学紀要第7号、pp111-117. 日本食生活学会誌 Vol. 25 (2014) No. 3、pp211-220.	ジ 10ページ	<p>スミンがラット肝臓の細胞小器官であるミトコンドリアの呼吸活性を阻害する作用を調べた。<u>グルコースなどの栄養成分からATPを産生する重要な代謝過程に作用するとともに、細胞膜のイオン透過孔にも影響をあたえるなどの活性があることがわかった。</u>共同研究につき本人担当部分抽出不可能。共著者：<u>Masayo Noda Terazima</u>, Terue Harumoto, Kasumi Tsunoda</p> <p>郷土料理として各地に伝承されているナマズ料理やナマズにまつわる食文化をまとめた。日本や世界でのナマズ食文化を概観し、ナマズ食の意義を論じた。共同研究につき本人担当部分抽出不可能。共著者：寺嶋昌代、萩生田憲昭</p>
生化学Ⅰ、生化学Ⅱ、生化学実験	1. Toxic and Phototoxic Properties of the Protozoan Pigments Blepharismismin and Oxyblepharismismin	共	平成10年2月	Photochemistry and Photobiology, 69(1), 47-54	8ページ	<p>繊毛虫ブレファリズマの持つ色素ブレファリズミンは光照射によりオキシブレファリズミンになるが、その時でも毒性および光毒性を保持していることがわかった。オキシブレファリズミンの毒性が調べられたのは、初めてである。ブレファリズミン、オキシブレファリズミンの暗条件下での毒性がブレファリズマの防御に寄与していることがわかった。共同研究につき本人担当部分抽出不可能共著者：<u>Masayo Noda Terazima</u>, Hideo Iio, Terue Harumoto</p>
	2. ブレファリズミン、オキシブレファリズミンの毒性と光毒性	共	平成11年1月	原生動物学雑誌 第32巻 p 37	1ページ	<p>繊毛虫ブレファリズマの持つ毒性色素の性質と機能を明らかにした。ブレファリズミンとオキシブレファリズミンの毒性と光毒性を捕食性繊毛虫ディレプタスに対する作用によって、研究した。ディレプタスはブレファリズミンに極めて感受性が強く、実験材料として、ふさわしい。共著者：寺嶋昌代、飯尾英夫、春本晃江</p>
	3. Climacostol, A Defense Toxin of the Heterotrich Ciliate <i>Climacostomum virens</i> against Predators	共	平成11年	Tetrahedron Letters, 40, 8227-8229	3ページ	<p>繊毛虫クリマコストマムのエタノール抽出物より毒性物質を単離し、NMRにより構造を決定した。また、その化学合成に成功した。クリマコストールは高等植物が持つレブリンノール脂質と構造が類似しており、その生理的活性は興味深い。共同研究につき本人担当部分抽出不可能 共著者：Miyuki Eiraku Masaki, Terue Harumoto, <u>Masayo Noda Terazima</u>, Akio Miyake, Yoshinosuke Usuki, Hideo Iio</p>
	4. 光感受性色素の細胞への影	単	平成11	東海女子短期	10ページ	<p>光力学的作用をもつ古くから知られている色</p>

様式第 4 号 (教員個人に関する書類)

	<p>響</p> <p>5. 毒性物質を介する predator-prey interaction</p> <p>6. 原生動物における光感受性器官について</p> <p>7. ブレファリズミン・クリマコストールの DNA 切断活性</p> <p>8. 繊毛虫 <i>Blepharisma japonicum</i> のもつ色素について</p> <p>9. ブレファリズミンの毒性の強さと特性について</p>	<p>共</p> <p>単</p> <p>共</p> <p>単</p> <p>共</p>	<p>年</p> <p>平成 11 年 3 月</p> <p>平成 12 年 3 月</p> <p>平成 12 年 3 月</p> <p>平成 13 年 3 月</p> <p>平成 13 年 3 月</p>	<p>大 学 紀 要 第 2 5 号 p 1 - 1 1</p> <p>原 生 動 物 学 雑 誌 第 33 卷 p 8 5</p> <p>東 海 女 子 短 期 大 学 紀 要 第 2 6 号 p 1 - 9</p> <p>原 生 動 物 学 雑 誌 第 34 卷 p 6 0</p> <p>東 海 女 子 短 期 大 学 紀 要 第 2 7 号 p 1 - 1 4</p> <p>原 生 動 物 学 雑 誌 第 3 5 卷 p 4 6</p>	<p>ジ</p> <p>1 ページ</p> <p>9 ページ</p> <p>1 ページ</p> <p>14 ページ</p> <p>1 ページ</p>	<p>素から、最新の癌治療に用いられる新しい色素までをまとめた。様々な光感受性色素が細胞のどこに局在しやすいか、また、そこでどのような損傷を与えるかについて、色素の性質と細胞損傷の機構の関連を論じた。</p> <p>原生動物のブレファリズマ、ディレプタス、アメーバ、クリマコストアムムの間の捕食—被食の関係を調べた。ブレファリズマの色素はディレプタスやアメーバに対しては防御の機能をもつが、クリマコストアムムに対しては防御の機能をもたなかった。共同研究につき本人担当部分抽出不可能 共著者：寺嶋昌代、春本晃江</p> <p>原生動物の光行動、光感受性の細胞小器官および光感受性色素の働きについてまとめた</p> <p><u>ブレファリズミン、クリマコストールは銅イオン存在下で、DNA を切断することを発見した。これは、OH・ラジカルの生成によるものであることが消去剤を用いることによりわかった。ブレファリズミンは光照射下では銅イオンがなくても、活性酸素の生成により DNA を切断する。</u>共同研究につき本人担当部分抽出不可能 共著者：寺嶋昌代、飯尾英夫、春本晃江</p> <p><i>Blepharisma japonicum</i> のもつ色素ブレファリズミンとオキシブレファリズミンの分離法をまとめた。それぞれの色素の毒性、光毒性強さを <i>Dileptus margaritifer</i> に対する致死効果によって評価した。<i>Dileptus margaritifer</i> はブレファリズミンに極めて感受性が強く、テスター細胞として、有用である。色素の暗条件下での毒性の強さが捕食者に対する防御の機能をもつ</p> <p>ブレファリズミンの毒性の強さと特性を調べるために、ブレファリズミンと様々な細胞染色用の色素（トリパンブルー、インジゴカルミン、フルオレセイン、エオシン、エリスロシン、ローズベンガル、メチレンブルー、サフラニン、トルイジンブルー、アクリジンオレンジ、ヤヌスグリーン）を色々な原生動物に作用させた。ブレファリズミンは酸性色素の性格をもつが、他の酸性色素よりも毒性が強いことがわかった。共同研究につき本人</p>
--	---	--	---	---	--	---

様式第 4 号 (教員個人に関する書類)

	<p>10. 繊毛虫 <i>Blepharisma japonicum</i> のもつ色素の生物活性—ミトコンドリア毒性—</p>	<p>共</p>	<p>平成 14 年 3 月</p>	<p>原生動物学雑誌 第 3 6 巻第 1 号 p 5 5 - 5 6</p>	<p>2 ページ</p>	<p>担当部分抽出不可能 共著者：寺嶋昌代、春本晃江</p> <p><u>ブレファリズミンを単離ラット肝ミトコンドリアに作用させ、呼吸活性に対する影響を調べた。ブレファリズミンは呼吸抑制作用があることがわかった。また、電子伝達鎖の直接の阻害ではなく、呼吸基質を含めたイオン透過性への阻害作用であったと考えられる。ミトコンドリアにブレファリズミンを作用させると、膨潤化により、吸光度が低下した。ブレファリズミンはミトコンドリア内膜の電位を瞬時に消失することが示唆された。共同研究につき本人担当部分抽出不可能、共著者：寺嶋昌代、春本晃江、田辺裕美河合清</u></p>
	<p>11. Defence Function of Pigment Granules in the Ciliate <i>Blepharisma japonicum</i> agaist Two Predatory Protists, <i>Amoeba proteus</i> (Rhizopodea) and <i>Climacostomum virens</i> (Ciliata)</p>	<p>共</p>	<p>平成 15 年 3 月</p>	<p>Zoological Science 21, pp. 8 23-828</p>	<p>6 ページ</p>	<p>繊毛虫 <i>Blepharisma japonicum</i> の色素顆粒の毒性による捕食者に対する防御機能について、<i>Amoeba proteus</i> と <i>Climacostomum virens</i> について調べた。<i>Amoeba</i> に対しては防御し、<i>Climacostomum</i> に対しては防御しないことがわかった。共著者：寺嶋昌代、飯尾英夫、春本晃江</p>
	<p>12. <i>Blepharisma</i> (albino), <i>Climacostomum</i>, <i>Dileptus</i> の光増感性色素による photodynamic killing</p>	<p>単</p>	<p>平成 18 年 3 月</p>	<p>Jpn.J.P protozool .Vol.39, No.1. (2006) p 121 - 122</p>	<p>2 ページ</p>	<p><i>Blepharisma</i> の野生株は赤い光増感性色素ブレファリズミンをもつため、光毒性に対する耐性が強い可能性があるかもしれないので、色々な光増感性色素の溶液中での、光増感死について調べた。共同研究につき本人担当部分抽出不可能 共著者：寺嶋昌代、春本晃江</p>
	<p>13. 繊毛虫 <i>Blepharisma japonicum</i> の色素顆粒の捕食者に対する防御機能について</p>	<p>単</p>	<p>平成 18 年 3 月</p>	<p>東海女子短期大学紀要 第 3 2 号 p p 7 - 1 7</p>	<p>11 ページ</p>	<p>繊毛虫 <i>Blepharisma japonicum</i> の色素顆粒が色素ブレファリズミンの毒性によって、捕食者からの攻撃を防御することについて、色々な捕食者との相互作用や、ブレファリズミンに対する耐性との関係についてまとめた</p>
	<p>14.</p>			<p>Zoologi</p>		

様式第 4 号 (教員個人に関する書類)

<p>Cell-Cell Recognition and Interactions among Protozoans, Chemical Defense in the Predator-Pre y Interaction in Ciliates.</p> <p>15. 繊毛虫 <i>Blepharisma japonicum</i> のもつ色素ブレファリズミンの特性 (1)</p> <p>16. 放流アユの脂肪酸組成の変動からみた放流適期</p> <p>17. 配合飼料への柿ワイン残渣混合が養殖アユの脂肪酸組成および官能評価に与える影響</p> <p>18. DNA cleavage activity of the protozoan pigment in the Ciliates <i>Blepharisma japonicum</i> and <i>Climacostomum virens</i>.</p>	<p>共</p> <p>単</p> <p>共</p> <p>共</p> <p>共</p>	<p>平成 18 年 3 月</p> <p>平成 21 年 3 月</p> <p>平成 25 年 3 月</p> <p>平成 27 年 7 月</p> <p>平成 28 年 3 月</p>	<p>cal Science 23, 1137-1139.</p> <p>東海学院大学紀要 2 号, pp97-108.</p> <p>日本食品科学工学会誌 61 (3) 139-143, 2014</p> <p>日本食品科学工学会誌 62(9), 431-437, 2015</p> <p>修文大学紀要 第 7 号、pp1-11</p>	<p>2 ページ</p> <p>12 ページ</p> <p>5 ページ</p> <p>7 ページ</p> <p>11 ページ</p>	<p>原生動物間の細胞間相互作用について、化学的防御の点から、繊毛虫における毒性色素を介する相互作用についてまとめた。共同研究につき本人担当部分抽出不可能。共著：<u>Masayo-Noda Terazima, Terue Harumoto</u></p> <p>繊毛虫のもつ色素ブレファリズミンの特性を理解するため、酸性の色素の毒性と比較検討した。</p> <p><u>岐阜県の特産のアユについて、養殖アユを自然川に放流後の脂肪酸組成の変化をGC-MCにより分析し、脂肪酸組成が安定化するには放流後 2 ヶ月が必要であることがわかった。共同研究につき本人担当部分抽出不可能。共著者：山澤広之、桑田知宣、山澤和子、寺嶋昌代、野澤義則</u></p> <p>養殖アユの体色と食味の改善および柿ワイン残渣 (PR) の有効利用を目的として、PR を配合した飼料 (PR 区) でアユを飼育し、アユ体色は有意に向上し、アユの体色および食味等の嗜好因子の改善に繋がることが示唆された。共同研究につき本人担当部分抽出不可能。共著者：山澤広之、桑田知宣、山澤和子、寺嶋昌代、野澤義則</p> <p>繊毛虫が防御のためにもつ毒性色素のブレファリズミンやクリマコストールの毒性の機構を解明するため、DNA 切断活性を調べた。<u>暗条件下では銅イオン依存的に DNA を切断する活性があった。</u>共同研究につき本人担当部分抽出不可能。共著者：Masayo Noda Terazima, Terue Harumoto, Hideo Iio</p>
---	--	--	---	--	--

様式第4号 (教員個人に関する書類)

	<p>19. 東海地方のつまもの野菜の抗酸化能</p> <p>20. 身近な発酵食品の中の乳酸菌の特性</p>	<p>単</p> <p>共</p>	<p>平成 31 年 3 月</p> <p>令和 5 年</p>	<p>修文大学紀要第 10 号、pp23-32</p> <p>甲子園大学紀要 No.50, pp.39-45,</p>	<p>10 ページ</p> <p>10 ページ</p>	<p>東海地方のつまもの野菜について、<u>その抗酸化作用と抗酸化成分を測定し、抗酸化作用は総ポリフェノール量と相関があることがわかった。</u></p> <p>地域特産の野菜の機能性を調べることは、地域への理解とともに地域野菜の付加価値を認知する機会となる</p> <p>身近な乳飲料や漬物の中から乳酸菌と取り出し、その特性を調べた。ホモ発酵 2 種、ヘテロ発酵 2 種を得た。これらの菌の糖質化性試験を行い、数多くの糖を発酵できるものと、限定された糖しか発酵できないものがあることがわかった。</p> <p>共同研究につき本人担当部分抽出不可能。共著者：岡田梨紗、寺嶋昌代</p>
NR・サプリメントアドバイザー演習	1. 生体色素ヒペリシン	単	平成 10 年 3 月	東海女子短期大学紀要第 24 号 p 25-38	14 ページ	<u>Hypericum (オトギリソウ) という植物は、家畜などがこれを食すると、光過敏症がみられる。また、一方、この植物は古来から癒しのハーブとして知られ、民間療法に用いられてきた。このヒペリシンの生理学的作用とその励起状態の性質についてまとめた。</u>
	2. St. John's Wort-抗うつ作用をもつ機能性食品としてのハーブ	単	平成 24 年 3 月	東海学院大学紀要第 5 号、pp53-65	13 ページ	St. John's Wort は古来から薬草として、傷などに利用されてきたが、最近抗うつ作用をもつサプリメントとして脚光をあびている。その有効成分について概観した。 <u>健康食品として手軽に利用できるものであるが薬物代謝酵素を誘導する作用もあることから、その摂取には注意が必要である。</u>
	3. 自己理解と目標設定支援のためのワークショップにおける SAT イメージ療法の効果	単	平成 25 年 3 月	東海学院大学紀要第 6 号、pp169-176.	8 ページ	生活習慣を変えて健康的な生活をしたり、充実した生活をするために目標設定をし、行動変容させていくには、自己理解と自己信頼心が根底として必要である。自己信頼心を増加させるためには SAT イメージ療法が有効である。
	4. 食品の安全性情報とリスクコミュニケーション-大阪府食の安全安心メールマガジンを中心として-	単	平成 25 年 3 月	東海学院大学紀要第 6 号、pp176-186.	11 ページ	食の安全性について信頼が揺らいでいる現代において、リスクコミュニケーションという双方向の情報交換が重要である。その一例としてのメールマガジンの内容を分析し、 <u>市民にとっての栄養や食品の情報源として有効であることを論じた。</u>
	5. 新聞にみる健康食品	単	平成 27 年 3 月	東海学院大学	10 ページ	新聞紙面広告の健康食品を分析し、どのようなカテゴリの物が多いか、どのような機能

様式第4号（教員個人に関する書類）

	<p>6. 健康食品の新聞広告分析</p>	<p>共</p>	<p>令和5 年3月</p>	<p>紀要第 8号、 pp. 83-92. 甲子園 大学紀 要 No.50, pp.45-5 0,</p>	<p>6 ペー ジ</p>	<p>を期待される成分が多いのかを調べた。<u>新聞 広告の問題点を指摘した。</u> 2020年1月～6月の毎日新聞、朝日新聞、読 売新聞、神戸新聞の朝刊に掲載された健康食 品の広告を分析した。機能性表示食品の割合 が61%を占め、<u>2015年の機能性表示食品制度 に施行により、保健機能食品の表示や宣伝に 変化が表れていることがわかった。</u> 共同研究につき本人担当部分抽出不可能。共 著者：石川真菜・岡田祐凱・寺嶋昌代</p>
--	---------------------------	----------	--------------------	--	-------------------	---